

ごあいさつ



会長
森田 昇



理事長
平岡 治房

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫へのご理解を一層深めていただくために、「2020 Disclosure」を作成いたしました。当金庫の経営方針や業績、地域社会貢献活動への取り組みにつきましてご報告いたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2019年度のわが国経済は、全体として底堅く推移し、緩やかな回復基調が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が大きく制限され、我々が経験したことのない影響が随所に見られることとなりました。また、金融業界におきましては、長引くマイナス金利政策のもとで預貸金利鞘や有価証券運用益を中心とした収益の確保が一段と困難なことに加え、少子高齢化や人口減少等に伴う事業基盤の縮小により引き続き厳しい環境に置かれました。

このような経済環境のもと、当金庫はお客さまに対する金融サービスの一層の充実に努めるとともに、“地域と未来への架け橋”を基本方針に掲げた中期経営計画の2年目として、地域社会の発展やお客さまの豊かなくらしの実現に向けて取り組んでまいりました。その結果、預金量、融資量とともに前年度比で増加し、当期純利益2,326百万円、自己資本比率9.67%とさらなる経営体質の強化を図ることができました。これも偏に皆さま方の温かいご支援の賜物であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

全世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い、日本では感染拡大防止に向けた様々な対策がとられておりますが、未だ終息の目処が立っておりません。私たちはお客さまと地域経済をしっかりと支え続けていくことを最優先に考え、この難局に対応してまいります。当金庫は2022年3月に創立100周年を迎えます。創業の精神である“共存同榮”的実現を目指し、地域の活性化に向けて皆さまのご期待に応えられる様、積極的に取り組んでまいります。

今後とも、倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月



企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、
産業の発展と豊かなくらしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かなくらしの実現を目指し、あおしんがお客さまに対してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまり青梅信用金庫を取り巻く人ととの関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

2019年度は、中期経営計画「Always Challenging 2018-2020」の2年目として、「地域と未来への架け橋」を基本方針に、地域社会の発展やお客さまの豊かなくらしの実現に努めてまいりました。

今後も創業の精神である“共存同榮”的実現を目指し、皆さまのご期待に応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

重点課題

- 取引シェアの拡大
- 業務体制のスリム化
- 職員のプロ集団化

計数目標

	3ヵ年目標(2020年度末)	2019年度実績
自己資本比率	9.5%以上	9.67%
不良債権比率	4%台(4.99%)	3.43%
当期純利益	22億円	23億円

経営の基本
1

あおしんの
CSR(企業の社会的責任)活動
2~11

2019年度のトピックス
12

コーポレート・ガバナンス
(企業統治)の状況
13

あおしんが応援する
“美しい多摩川フォーラム”
14~15

会員の意見を反映する総代会
16~17

リスク管理とコンプライアンス
(法令等遵守)の態勢
18~19

2019年度 業績のご報告
20~25

主な業務のご案内
26~31

店舗ネットワーク
32~33

金庫の概況と組織に関する事項
34

資料編／財務諸表
35~49

資料編／連結情報
50~54

資料編／自己資本の充実の状況
55~67

開示項目一覧
68

沿革
69